

連結バランスシート（平成17年3月31日現在） 市川市

資産	<u>5.395億2,329万円</u>	負債・正味財産	<u>5.395億2,329万円</u>
1. 固定資産	<u>5,016億1,923万円</u>	1. 固定負債	<u>1,548億9,629万円</u>
1 総務関係	107億9,543万円	1 地方債	1,236億452万円
2 民生関係	151億4,760万円	2 退職給与引当金	207億5,066万円
3 衛生関係	402億7,559万円	3 債務負担行為	104億2,560万円
4 労働関係	4億6,698万円	4 その他引当金	1億1,551万円
5 農林水産業関係	5億2,579万円		
6 商工関係	1億1,381万円	2. 流動負債	<u>161億8,943万円</u>
7 土木関係	1,664億4,665万円	1 地方債翌年度償還予定額	155億5,734万円
8 消防関係	63億5,469万円	2 未払金	5億7,921万円
9 教育関係	1,476億550万円	3 その他流動負債	5,288万円
10 下水道関係	753億1,032万円		
11 市場関係	7億8,516万円	負債合計	<u>1,710億8,572万円</u>
12 市川駅南口地区市街地再開発	92億9,079万円		
13 病院	77億3,488万円	3. 正味資産	<u>3,684億3,757万円</u>
14 土地開発公社で取得した土地	83億2,677万円	1 国の補助金	478億4,981万円
15 その他	124億3,927万円	2 県の補助金	108億4,720万円
(保有する土地 = 1,768億9,403万円)		3 自己資本金	42億307万円
		4 市税等	3,055億3,749万円
2. 投資等	<u>95億4,992万円</u>		
1 投資及び出資金	10億8,354万円		
2 貸付金	4億4,913万円		
3 基金	73億3,466万円		
4 その他	6億8,259万円		
3. 流動資産	<u>283億5,414万円</u>		
1 現金・預金	144億247万円		
2 未収金	138億1,142万円		
3 その他流動資産	1億4,025万円		

＜バランスシート作成上の前提条件＞

一般会計、全ての特別会計、公営企業会計、土地開発公社、(財)清掃公社、(財)福祉公社、(財)文化振興財団、浦安市川市民病院を対象として作成しています。

作成方法につきましては、国の示した基準に準じて作成しています。

国の示した基準である昭和44年度以降の決算統計データをもとに作成しています。

市川市財政部財政課

バランスシートの見方

連結バランスシートは、市の一般会計だけでなく、特別会計、公営企業会計、一部事務組合（市民病院）を合わせた全体のバランスシートであり、平成16年度末時点の市の財政状態を表しています。

この連結バランスシートで、資金の調達（負債・正味資産）とその使われ方（資産）の状況をコンパクトに眺めることができます。たとえば、表の左側に位置する「**資産**」として、市民の皆さんの利用に供している保育園、公園、文化会館、公民館及び体育館などの建物などが民生費、土木費及び教育費などに計上され、そのために調達した資金である市債（長期借入金に該当）等が、表の右上の「**負債**」に計上されています。その差引としての「**正味資産**」は、国庫支出金、一般財源等という内訳で計上されています。

市民1人当たりの市の財政状態は、資産が116万円、負債が37万円、正味資産が、79万円です。建物などの資産の残価率（当初の価値から老朽化を差し引いた割合）は、55.4%でした。また、市債などの将来の借入金負担は、市民1人当たり32万円です。（平成17年3月1日の市川市常住人口を使用）

借入を着実に返済しつつ、建物や道路・公園などの資産をよりよい状態で市民の皆さんに提供することが市の使命です。バランスシートの分析を通して、より健全な財政状態に努めてまいります。